学校番号	３１８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「絵画」「立体」「デザイン」「版画」など幅広い美術の表現分野の基礎的な学習をし、感性や技術力、造形感覚を高め、それらを生かして課題に取り組みます。
・作品制作によって表現形式の特性や形体・色彩などを知り、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
・「プレゼン・鑑賞」によって他者と違った見方や感じ方それぞれの表現方法を味わい共有することで、表現の多様性を習得し、自分の表現を更に深めていきます。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方・表現方法を習得し、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
（２）　造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 ・他者の作品を味わい、美術表現のもつ多様性や可能性を探り、自己の表現に生かしていくことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書や PC を参考に、「美術のⅠ」の学習イメージや目標をみつける。	a:美術の多様な表現に関心を持ち、今後の学習や制作の意欲を高めている。 a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子	・ワークシート ・活動の様子 ・振り返りシート
	鉛筆デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・鉛筆の扱い方を学ぶ (グレスケール・パース等) ・立体物をデッサンする 教科書・PC 使用。 ・完成レポート ・相互鑑賞	a:意図に応じて鉛筆の特性をいかしている。 b:濃淡や構成などについて考え、対象物をしっかりとらえている。 c:主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・修作 ・活動の様子	・作品 ・活動の様子 ・鑑賞ワークシート	・活動の様子 ・プレゼンの様子 ・完成レポート ・振り返りシート
	色のイメージ	【デザイン】 ・色彩の基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	a:配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージでとらえることを理解している。 b:伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、配色の効果と美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:配色の効果や構成などの造形的特徴を理解し、表現方法などを創意工夫して表す活動に取り組もうとしている。	・作品 ・修作 ・活動の様子	・作品 ・活動の様子 ・鑑賞ワークシート	・活動の様子 ・プレゼンの様子 ・完成レポート ・振り返りシート
2学期	デザインポスター	【デザイン】 ・ポスター制作 伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する。	a:様々な造形的要素やアクリル絵の具の特性を理解しており、ポスターが社会に果たす役割について考え、理解している。 b:伝えたい内容にふさわしい形や色彩、文字やイラストなどを組み合わせて表現の構想を練っている。 c:ポスターの伝達機能やアクリル絵の具の表現効果を理解し、ポスターの社会的働きについて考え理解し表現しようとしている。	・作品 ・修作 ・活動の様子	・作品 ・活動の様子 ・鑑賞ワークシート	・活動の様子 ・プレゼンの様子 ・完成レポート ・振り返りシート

	木彫	【絵画・彫刻】 作品のイメージに合った質感の表現を工夫して生命観や存在感を彫りだす。	a:形や質感、量感、重心やバランス、動静などの効果､全体のイメージなどを捉え､木という材料の特性を生かして表している。 b:形や質感、重心などの効果を考え、構想を練り、観賞することができる。 c:木の特性や質感を作品のイメージに生かして彫像に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・作品 ・修作 ・活動の様子	・作品 ・活動の様子 ・鑑賞ワークシート	・活動の様子 ・プレゼンの様子 ・完成レポート ・振り返りシート
3学期	静物デッサンⅠ	【絵画】 モチーフをよく観察し、鉛筆デッサン、着色をおこなう。 ・指定された絵の具(三原色)を混色させて、色や陰影、質感まで筆遣いなどを工夫して表現する。	a:形や色、材料、光などが環状にもたらす効果や､造形的な特徴などをもとに､描いた作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 b:対象に対する思いなどから主題を生成し､創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に対象を見つめ､感じ取った特徴や対象に対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・修作 ・活動の様子	・作品 ・活動の様子 ・鑑賞ワークシート	・活動の様子 ・プレゼンの様子 ・完成レポート ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度